

インドネシア人に喜ばれるお土産

最近、「インドネシア人の方にどんなお土産を渡すと喜ばれますか」という質問を多く受けるようになりました。インドネシアへの出張だけではなく、取引先であるインドネシアの方が訪日するという話もよく耳にします。データを見ても、訪日するインドネシア人は年々増加傾向にあります。2011年度は61,911人だったインドネシアからの訪日外客数（商用・観光目的含む）は、2012年度には101,460人となり、63.9%も増えました。2013年度も6月までですでに65,200人に達しています。

※出典：日本政府観光局（JNTO）

人数だけみると、韓国、台湾、中国などからより多くの方が来日していますが、人口が世界第4位で中間層が拡大しているインドネシアからの訪日外客数は今後も年々増加すると思われ、日本政府観光局（JNTO）もインドネシアに駐在員事務所を設置して日本の観光地をアピールする予定です。



ジャカルタ空港にて

日本行きのチェックインカウンターに並ぶインドネシア人

今回は、岡山県インドネシアビジネスサポートデスク調査による「インドネシア人が喜ぶ日本のお土産」を食料品、民芸品の2つの部門に分けてご紹介します。

1. 食料品

最近、インドネシアの都心部で流行している日本のお菓子があります。「東京バナナ」と「Kit Kat（キットカット）」です。東京バナナは東京土産として有名ですが、インドネシアに持って帰った人が現地で流行らせ、今ではインターネット上で販売されるまでになっています。Kit Katも一時大変なブームになりました。インドネシアでもKit Katは販売されていますが、日本にしかない味、例えば抹茶味やストロベリー味が好まれます。それらをお土産として渡せば喜ばれること間違いありません。



東京バナナ

インドネシア人は、甘いもの、しょっぱいもの、辛いものといったように、濃い味のを好み、日本人が好む甘さ控えめ、減塩といったものはあまり喜ばれないかもしれません。インドネシアの食べ物と似ている日本のお菓子は、エビせんべいやおまんじゅうです。それらは、馴染みのある味ですので、お土産として外れがないでしょう。

インドネシアは果物が安く美味しいことで有名ですが、日本とは気候が異なり、栽培している果物もまったく違います。インドネシア人は果物が好きですので、日本特有の果物も喜ばれます。岡山県で有名なぶどうや白桃もきっと喜ばれることでしょう。ぶどうはインドネシアにもありますが、あまり甘くありませんので、岡山のぶどうを食べれば驚くことは間違いありません。白桃は珍しい果物として喜ばれるでしょう。但し、果物は税関で問題になりますのでインドネシアへ持ち込む際に注意が必要です。

2. 民芸品

民芸品としてインドネシアで人気なのが、女性用の浴衣です。インドネシアでは着物の方が有名ですが、暑いインドネシアでの着用は難しく、また高価ですので、気軽に着られる浴衣がお土産として重宝されます。最近では 3,000 円～5,000 円程度の浴衣があります。外国人向けに、英語の着方マニュアルまで付いているものもあるようです。奥様やお子様がいいらっしゃる方へ浴衣を渡せば、印象に残るお土産になると思います。

民芸品ではありませんが、折り畳み傘もお勧めです。インドネシアの季節は雨季と乾季で、雨季には毎日雨が降ります。ただ、日本の梅雨と異なり一日中降らず、スコールのような雨が一時的に降るだけです。そのため、雨季でも傘を持たずに外出する人が多く、雨宿りをしてやり過ごします。そのため、インドネシアではデザイン性・機能性の高い傘があまり流通していません。例えば、日本らしい花柄の傘や、かなりコンパクトになる折り畳み傘、また UV カット仕様の傘がお土産に最適です。

また、日本の便利グッズに対する評価も高いです。消せるボールペン「フリクションボール」や、100円ショップで販売している台所用用品等のアイデア商品もインドネシア人だけでなく各国の外国人に人気があるようです。

日本と同様、インドネシアにもタブーのお土産があります。最近の若い人はこだわりませんが、お土産としてハンカチを貰うと「別れ」をイメージするため、良いイメージを持たない人がいます。特に、年配の方に渡す際には気を付けた方がいいでしょう。

また、イスラム教徒が多いため、食料品の場合は、豚やアルコールが入っているものは避けた方がいいでしょう。特に洋菓子には、ラム酒入りのチョコレートやラムレーズンの入ったクッキーなど、意外とアルコールが含まれるものも多いですし、ラードやゼラチンなどの豚由来成分にも注意が必要です。

インドネシアに住んでいる日本人駐在員にお土産を持って行く方も多いかと思います。日本人駐在員には、お酒（日本酒や焼酎）が大変喜ばれます。インドネシアへお酒を輸出する場合、高い関税率がかかるため、日本のお酒は現地では高級品です。しかし、手荷物としてインドネシアにお酒を持ち込む場合、1リットル以内であれば関税がかかりません。瓶だと重く割れやすいですので、パック入りのお酒を持って行くと良いでしょう。

日本人だけでなくインドネシア人にもお土産を渡すと非常に喜ばれ、人間関係もぐっと近くなり、コミュニケーションのきっかけとなります。高価な物でなくても、相手を理解し気持ちを込めてお土産を選んでみてはいかがでしょうか。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. J C内）概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域



浴衣姿で日本のお祭りを楽しむ
インドネシア人カップル

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」[利用の手引き](#)をご覧ください。また、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応していません。